

時間割コード	G2B60704		開講年度	2026					
授業題目	ゴルフマスター					担当教員	速水 達也		
英文授業名	Golf Master						杉本 光公・廣野 準一・加藤 彩乃		
単位数	1	講義期間	前期(集中)	曜日・時限	集中・不定期		対象学生	前年度までに、ゴルフマスター を修得した学生	
講義室				授業形態	実技	遠隔授業科目		備考	【地域】
信大コンピテンシー	非該当								
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素						【授業の達成目標】		
	大学DP								
	持続可能な社会を実現するための課題に取り組む力						・生涯スポーツとして実施可能なゴルフの知識・手段を修得するためのきっかけを作る。		
(2)授業で学べる「テーマ」	健康長寿								
(3)全学横断特別教育プログラム									
(4)授業の概要	打ちっぱなしでの練習を重ねるとともに、ゴルフコースにでて、さらにゴルフの技術の修得をおこなう。また、１年次のゴルフの授業の補助を行う。								
(5)授業のキーワード	ゴルフ								
(6)授業計画	１日目 松本カントリークラブ 午前 ハーフコース （授業2回分） 午午後 ハーフコース （授業2回分） ２日目 松本カントリークラブ 午前 ハーフコース （授業2回分） 午午後 ハーフコース （授業2回分） ３日目 松本カントリークラブ 終日でフルラウンド（授業4回分） 松本カントリークラブ ４日目 松本カントリークラブ 終日でフルラウンド（授業4回分） まとめ								
(7)成績評価の方法	ゴルフの基礎的なスイングができ、コースに出て独り立ちできるゴルファーになっているかどうかを評価の基準とする。 具体的には、 ゴルフの道具について理解し、プレーの当日の行動が分かっており、プレー中、周りに迷惑をかけず、マナーを守って楽しくプレーを行えるかどうかを、コースで判断する。これによって、ゴルフを生涯スポーツとして身につけているかどうか判断する。								
(8)成績評価の基準	授業に積極的に参加し、ゴルフのルールとマナーを修得し、ゴルフコースを他人に迷惑をかけずに、安全にラウンドできるようになれば、可とする。 さらに、適切な状況判断を行え、パーを一つとれた場合は良とする。 さらに、パーを二つ以上とれた場合は、優とする。 パーを２つ以上取りルールに精通し、マナーの模範となれるものを秀とする								
(9)事前事後学習の内容	自主練を必須とする。 15時間以内の時間外学習が必要となる。								
(10)履修上の注意									
(11)質問,相談への対応	杉本光公 sugi_26@shinshu-u.ac.jp								
(12)授業への出席	履修する全ての回に出席することを基本とします								
(13)授業に出席できない場合の学修の補充	補講を行う								
【教科書】	特になし								
【参考書】	特になし								